

## 行動01：医学研究における倫理の基礎

日時：4月16日（火） 3時限

担当者：種田 佳紀(教養教育)

内容：

医学研究を実施するうえで必要となる倫理的視点を理解する。研究倫理が包含する論点が多様であることを理解する。

キーワード：

ユニット：

研究協力者の保護，研究不正，COI

参考書：

◆ 「医学研究・臨床試験の倫理—わが国の事例に学ぶ」井上悠輔・一家綱邦編著，日本評論社，2018

予習：

医療における倫理と研究における倫理の区別がどのようなものであったか，復習しておくこと。(15分)

復習：

講義で触れた事例について自分なりに調べ、次回授業の予習課題に必要な基礎知識を得る。(15分)

## 行動02：ゲノム編集と研究倫理1

日時：4月30日（火） 5時限

担当者：種田 佳紀(教養教育) 三谷 幸之介(ゲノム応用) 林 禅之(教養教育)

内容：

研究倫理が多面的な論点を抱えていることを理解する例として，ゲノム編集を取り上げる。特に，ヒト受精卵を対象としたゲノム編集に関わる基礎/臨床研究を実施していくうえで，実際にどういった倫理的問題に直面するのかを説明する。

1. ゲノム編集の原理と応用例について，簡単に説明できる。★RE-01-02-02 ★RE-05-02-02
2. ヒト受精卵へのゲノム編集を用いた治療法について，賛成意見と反対意見の両方を例を挙げて説明できる。
3. ヒト受精卵へのゲノム編集を用いた治療法の賛否について，自分自身の意見をまとめて説明することが出来る。

キーワード：

ユニット：

ゲノム編集 genome editing, CRISPR-Cas9, ヒト胚の尊厳, 生殖系列への介入

予習：

ゲノム編集がどのような技術かについて、また、それと研究倫理との関連について事前学習課題で理解を深めておく。(15分)

復習：

授業中に提示されたワークシート課題を実施する。(30分)

## 行動03：ゲノム編集と研究倫理2

日時：4月30日（火） 6時限

担当者：種田 佳紀(教養教育) 三谷 幸之介(ゲノム応用) 林 禅之(教養教育)

内容：

行動02に同じ

- 1.

キーワード：

## 行動 04 : 行動変容の理論と技法 1

日時 : 5月29日(水) 2時限

担当者 : 小林 清香(総セ 神経精神科)

内容 :

行動変容は行動に焦点を当てた、その人の生活に何らかの改善をもたらすことを目的とした技法である。新しい行動を形成する、あるいは望ましい行動を増やし、望ましくない行動を減らすことで、問題の解決を目指す。臨床場面では特に不健康な行動様式の是正等に用いられる技法である。これまでの授業で学んできた基本的な行動原理を元に、その理論と技法を学ぶ。

1. 健康行動と行動変容を概説できる。 ★GE-01-05-01
2. 健康行動や行動変容に関連する動機づけを概説できる。 ★GE-01-05-02 ★CM-02-02-01

キーワード :

★コアカリ :

動機づけ, 心理教育, 行動変容

予習 :

条件づけ, 動機づけについての基本的な知識を復習しておく。(15分)

復習 :

講義で取り組んだ内容が生じている場面を実生活でも見つけられるように、学びと生活を照らし合わせて考えること。(5分)

## 行動 05 : 行動変容の理論と技法 2

日時 : 5月29日(水) 3時限

担当者 : 小林 清香(総セ 神経精神科)

内容 :

行動変容の理論と技法1に引続き、行動変容の具体的な理論と技法について学ぶ。また、主体的な健康行動を促進する基盤となる心理教育の概念について学ぶ。

1. 健康行動や行動変容を行う動機づけを概説できる。 ★GE-01-05-02

キーワード :

★コアカリ :

動機づけ, 行動療法, 認知行動療法

予習 :

条件づけ, 動機づけについての基本的な知識を復習しておく。(15分)

復習 :

講義で取り組んだ内容が生じている場面を実生活でも見つけられるように、学びと生活を照らし合わせて考えること。(5分)

## 行動 06 : 医療における行動科学 III : 生活習慣病における患者支援

日時 : 5月29日(水) 4時限

担当者 : 小林 清香(総セ 神経精神科)

内容 :

生活習慣病の治療においては、患者さんの自律、セルフコントロールが重要となる。ただ正すべき生活習慣を指導するのではなく、患者さんの状況に合わせた具体的な提案と働きかけが必要である。また生活習慣の変容は、患者さんにとってストレスとなる要素が多く、健康行動の変容と維持には総合的な配慮と支援が求められる。患者支援の基本的な技法と注意点について学ぶ。

1. 生活習慣病における患者支援(自律性支援)や保健指導を概説できる。 ★GE-01-05-02
2. 心理教育を説明できる。 ★GE-01-05-01

キーワード：

ユニット：

コミュニケーション, アドヒアランス

★コアカリ：

心理教育

予習：

これまでの授業で得た、カウンセリングや認知行動療法についての基本的な知識を確認しておく。(10分)

復習：

講義で取り組んだ内容が生じている場面を実生活でも見つけられるように、学びと生活を照らし合わせて考えること。(5分)

### 行動 07：がん医療における心のケア

日時：6月5日（水） 5時限

担当者：大西 秀樹(国セ 精神腫瘍科)

内容：

1. 人間の死について説明できる。 ★PR-04-01-01
2. 身体疾患患者の精神医学的問題について説明できる。
3. 安楽死と鎮静の違いについて説明できる。 ★PR-04-01-01
4. 終末期患者の心のケアについて説明できる。 ★PR-04-01-01
5. 遺族における心身の問題について説明できる。 ★GE-03-06-06

キーワード：

ユニット：

がん, 生, 死, 鎮静

★コアカリ：

安楽死

参考書：

- ◆ 「ユダヤ人を命がけで救った人々：ホロコーストの恐怖に負けなかった勇気」 キャロル・リトナー, サンドラ・マイヤーズ編, 河出書房新社, 2019
- ◆ 「遺族外来：大切な人を失っても」 大西秀樹, 河出書房新社, 2017

予習：

「ユダヤ人を命がけで救った人々：ホロコーストの恐怖に負けなかった勇気」 キャロル・リトナー, サンドラ・マイヤーズ編, 河出書房新社, 2019 を読んでおく (120分)

復習：

授業とハンドアウトの内容を復習する (15分)

### 行動 08：医療安全Ⅲ：基本的予防策（特に臨床場面での）とヒューマンエラー防止と組織的リスク管理

日時：5月30日（木） 2時限

担当者：岡田 浩一(大 医療安全対策室)

内容：

実臨床での限られたリソースのもと、どのように組織的に安全を担保し、治療を行っていくかを学ぶ。  
★CS-05-05-01★CS-05-06-01

キーワード：

ユニット：

エラー防止

★コアカリ：

医療安全

参考書：

- ◆ WHO 患者安全カリキュラムガイド多職種版  
<http://meded.tokyo-med.ac.jp/who> 患者安全カリキュラムガイド多職種版について/

備考：

カリキュラムガイドはインターネットで公開されています。

予習：

上記のカリキュラムガイドに目を通しておいてください。(30分)

復習：

授業スライドのPDFを共有しますので、もう一度目を通してください。(20分)

行動09：研究倫理演習1

日時：6月6日(木) 4時限

担当者：種田 佳紀(教養教育)

内容：

研究倫理の多面的な問題を、実際に臨床医になった後、早い段階で直面しうる具体的な事例を通して検討する。★RE-05-02-01 ★RE-05-02-02

キーワード：

ユニット：

リスクベネフィット, COI, パワーハラスメント, Patient Involvement

参考書：

- ◆ 「医学研究・臨床試験の倫理—わが国の事例に学ぶ」井上悠輔・一家綱邦編著, 日本評論社, 2018

予習：

事例のなかに登場する人物の立場を深く想像する心の準備をしておく。またCOIや研究協力者の保護といった研究倫理の基本的な柱を理解しておく。(15分)

復習：

続く研究倫理演習2と併せて、ワークシート課題を実施し、研究倫理についての実際上の論点を深く理解する。(20分)

行動10：研究倫理演習2

日時：6月6日(木) 5時限

担当者：種田 佳紀(教養教育)

内容：

研究倫理演習1で検討した事例についてグループで討論し、医学系研究の実施において配慮しなければならない論点を立体的に検討する。医学研究を前進させているのは研究者だけではなく、多くの善意の研究協力者がいて初めて成り立つものなのだというを理解する。★RE-05-01-01 ★RE-05-02-01

キーワード：

ユニット：

リスクベネフィット, COI, パワーハラスメント, Patient Involvement

参考書：

- ◆ 「医学研究・臨床試験の倫理—わが国の事例に学ぶ」井上悠輔・一家綱邦編著, 日本評論社, 2018

備考：

医学研究をリードするのは医師だ、という考え方を一度括弧に入れて、社会全体から医学研究を見つめなおす気持ちをもって、授業に臨んでください。

**予習：**

研究倫理演習1での議論の内容を休み時間の中に自分なりに整理しておく。(5分)

**復習：**

研究倫理演習1と併せて、ワークシート課題を実施する。(20分)

**行動11：行動科学と医療倫理まとめ**

日時：6月20日(木) 3時限

担当者：種田 佳紀(教養教育) 菅 理江(教養教育)

**内容：**

1. 医師の倫理に関わる各宣言の条文を通して、4年間の医療倫理科目で学んだことをとらえ返す経験をする。★PR-01-01-01 ★S0-04-07-01
2. 医師として理解しておくべき各宣言に関する知識を確実に記憶する。★PR-01-01-01 ★RE-05-02-01
3. 行動科学・医療倫理それぞれの文脈から、臨床上での医師—患者関係のとらえ方を考察する。★PR-04-01-02 ★PR-04-01-03

**キーワード：**

**ユニット：**

人の行動と心理, 医療安全, 医療倫理, 研究倫理, コミュニケーション

**★コアカリ：**

リスボン宣言, ジュネーブ宣言, ヘルシンキ宣言, 患者中心主義, プロフェッショナリズム

**教科書：**

◆ 「入門・医療倫理 I 改訂版」赤林朗編, 勁草書房, 2017

**予習：**

リスボン宣言, ジュネーブ宣言, ヘルシンキ宣言の各条文を読んでおくこと。(20分)

**復習：**

授業を踏まえて、もう一度予習で扱った宣言を読み直し、しっかりと覚えること。(20分)